■木耐博士S かんたんマニュアル



●調査データがあればどなたでも簡単に入力できます

従来、手計算での診断では数時間、コンピュータでも1~2時間ほどかかっていた木造住宅の耐震診断を、調査データを 元に10分~15分程で作成できます。柱・壁などの自動入力機能により、初めての方でも簡単、すぐに使用できます。

●お客様にも分かりやすい出力帳票

耐震診断結果はお客様にも分かりやすい出力帳票で構成されます。また、調査時の写真を挿入したり、コメントを記載することも可能ですので、お客様の状況に合わせた提案資料を作成することが可能です。

●「木造住宅の耐震診断と補強方法」一般診断法に準拠

(財)日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」一般診断法に準拠しています。

●(財)日本建築防災協会 プログラム評価制度で評価書を取得

木耐博士Sは(財)日本建築防災協会の「木造住宅耐震診断プログラム評価制度」で評価書(P評価4-改1-W)を取得しています。各自治体で実施されている助成制度に使用する耐震診断ソフトについて、(財)日本建築防災協会の認定を取得していることを条件とする自治体も多いため、助成金申請等のシーンでもご活用いただけます。 ※助成制度の申請に当たっては、各自治体の窓口へお問い合わせ下さい。



■耐震診断書・補強提案書作成までの流れ

現地調査~耐震診断書作成まで

現地調査を実施する

1

2

5

7

診断書作成には、正確な現地調査が必要です。建築図面と実際の家屋の状況とは異なる場合がありますので、まずは現地調査を実施して下さい。(現地調査の方法については(財)日本建築防災協会の「木造住宅の耐震診断と補強方法」をご確認下さい)

木耐博士Sの起動(3ページ)

現地調査後の情報が準備できましたら、パソコンを起動し、木耐博士Sのプログラムを起動します。

基本情報(建物概要、劣化係数、地盤・基礎の情報)の入力(4~7ページ)

依頼者名やご住所、物件概要など、基本的な情報を入力します。 いくつかの項目は自動的に入力されますので、ご活用下さい。

3 間取りの入力(9~11ページ)

図面を参考に部屋・開口部の入力を行います。必要に応じて補助線を入力します。

柱・壁・耐力壁(軸組)の自動生成と修正(12~15ページ)

4 柱・壁・耐力壁(筋かい等の軸組)は耐力壁の自動生成機能を利用すると便利です。自動生成を行った後、
 実際の調査内容に合わせて適宜修正を行います。
 ※自動生成機能を使わずに柱・壁・耐力壁を入力することも可能です。

耐震診断の計算を実行し、診断結果を印刷する(16ページ)

物件情報の入力が完了したら、診断結果を計算します。出力プレビューで内容を確認し、入力間違いが無いことを確認しましたら、診断結果を印刷します。

補強設計~補強提案書作成まで

6 補強提案書を作成する(17~18ページ) 補強案モードに切り替え、現状図面を取り込み、耐力壁の変更等を行います。

画像・文字を挿入する(19~20ページ)

必要に応じて補強案の図面に写真・文字を挿入することができます。

便利な機能

	N値計算の結果を表示する(21ページ)
	補強設計に必要なN値計算の結果を、診断書に表示させることができます。
	接合金物を自動で選定する(22ページ)
\circ	補強設計の内容とN値計算の結果をもとに、接合金物の仕様を自動で選定することができます。
U	補強部材の数量を自動出力する(23ページ)
	補強した部材(面材・金物等)の数量を自動で出力することができます。
	設定とマスターメンテナンス(24ページ)
	木耐博士Sの各種設定や下地材・金物等の情報の追加・変更ができます。

デスクトップにある「木耐博士S」のアイコンをダブルクリックし、木耐博士Sのプログラムを起動します。



// 木耐博士 S ファイル(F) 表示(V) マスターメンテナンス(J) ヘルプ(H) 俞 基礎 物件選択 フォルダ Ci¥AIM¥Data¥ 参照(F) 物件コード 構法/構造 更新日 物件名 更新日 作成日 2006/03/15 20:07:36 2006/02/28 19:52:16 ◎ 木耐 博士サンブル 様邸 在来 新規物件作成(N) 物件削除(D) 選択(E) キャンセル(C) 0000000 0000000 レディ 起動直後の画面(物件選択)

■STEP2 基本情報の入力(1)

物件の基本的な情報である「建物概要」「劣化係数」「地盤・基礎」の入力を行います。

建物解酶	×	
建物磁安	構法/構造 建物重量の設定	
施主名 末前、博士サンプル	 ● 在来軸組構法 ○ 軽い 	
建物名 木耐 博士サンブル 様郎	 ○ 枠組壁工法 ● 重い ● 手() ● 非常(-垂() 	
物件コード		
郵便番号 3320002 参照 都道府県 埼玉県	混構這割増(1階構造) 地域条件の設定	
市区町村 川口市	● 小归 積雪 U ▼ ● 鉄骨造または	
#+把卖 5712200 ■☆#F 木耐福事務局	● 鉄筋コンクリート這 地域1条数2 1.0 ▼	
診断者 無し ▼	(形状割増) (建物短辺の長さ)	
備考	1階 6m以上 -	L
竣工年月 昭和 ▼ 48 年 1 ▼ 月 16方位 北 ▼	2階 6m以上 🔻	建物概要の入力画面
建物階数 2 🔻 階建 住宅金融公庫 🔘 無または不明 💿 有)	
仕様	床仕様	各項目をクリックすると、その項
モジュールピッチ 910 - 壁厚さ 120 柱径 120		目に関するヘルプをご覧いただ
■ 期縁 外壁仕様 モルタル塗り壁 🔹	 ● Ⅱ 火打ち+ 亢板 ○ Ⅲ 火打ちなし 	けます。
	柱頭柱脚接合部	
 ○ 無 ○ 有 仕様 筋かい木材 45×90以上(金物なし) 	◎ I平12建告1460号に適合する仕様	
	 ■ 羽子板ボルト、山形ブレートVP等 ■ IVほぞ差し、釘打ち、かすがい等 	
14000 HUES	※枠組壁工法は、柱頭柱脚の低減は不要(1.0)です。	
	基礎形式	
◎ 普通 ■ がけ地・急斜面	● 鉄筋コンクリート(健全)	
 思い(理立地・盛り土・駅55地盤) ③ コンクリート擁壁 ③ 表層の地盤改良を行っている ○ 丁井 	◎ 鉄筋コンクリート(ひび割れが生じている)	
◎ 杭基礎である ◎ 特別な対策を行っていない	◎ 無筋コンクリート(健全)	
○ 特別な対策を行っていない たし (またヨコトンは6年の史明的(5米)	 ● 無筋コンクリート(ひひ割れが生じている) ○ 玉石(足固めあり) 	
著い戦场な地盤の割単額系数 (Qr1.5倍)を適用するか	 ○ = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	
	◎ その他(ブロック基礎)	
© 0/401	OK キャンセル	
・ ・ ホ村 博士サンブル ・ ボ村 博士 ・ ・ ボ村 博士 ・ ・ ボ村 博士 ・ ・ ボ村 ・ ・ ・	建物名 「加 にフ 物件コード 郵便番号 フ 可 (斗 診断会社 名 計 診断者 登録 竣工年月 預 16方位 図 建物階数 何	 施主名」で入れた内容から自動的 人力されます。 物件の管理にご利用下さい。 人力後「参照」ボタンを押すと住所の一部が自動入力されます。 半角・ハイフン抜きで入力) 登録されている会社情報が表示されます。 (この画面では入力できません) 緑の中から診断者を選択します。 建てられた年・月を入力します。 国面の向きを入力します。 可階建ての建物かを入力します。
2 ▼ 階建 1日毛金館公庫 (無または1~9.	■ ● 有 モジュールヒ モジュールヒ したモジュー のでご注意T 壁厚さ・柱谷	は「有」をチェックします。 ニッチ: ニッチを入力します。ここで設定 ールピッチは以後変更が出来ない 下さい。 軽 伝統構法で建てられた建物を 診断する際に設定します。
 ○無 ● 有 仕様 筋かい木材 45×90以上(金物なし) 	小壁仕様・≢	曲組 建物に合わせて設定をします。設定された内容は自動生成時に使用します。





STEP2 基本情報の入力(3)



■STEP2 基本情報の入力(4)

建物概要を入力した後は、続けて劣化状況の入力・注意事項の設定を行います。

劣化状況の入力

劣化度による低減係数 D

建物概要で入力した「竣工年 月」から、存在点数の「10年 未満」「10年以上」の欄に全 てチェックが入ります。 劣化が見受けられる箇所につ いては「劣化点数」の欄に チェックを入れて下さい。

劣化度による低減係数は存在 点数と劣化点数から自動的に 計算されます。

	#R/+	材料、	小儿古母	存在	点数	劣化
3	EP1꼬	部材等	ろに争家	10未満	10以上	点数
E +	8****	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある			
座化	の耳らり	瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある		₩ 2	<u> </u>
	1:3	軒・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	☑ 2	2
	าต	縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	☑ 2	2
		木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある			
	外壁	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
f:	E上げ	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある		<u>191</u> 4	
		モルタル	こけ、0.3mm以上の龟裂、剥落がある			
	露出	した躯体	水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	2
ŝ		木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある			
6	手す	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある	1	☑ 1	E 1
1	り壁	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある	2		
-		外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある	1	☑ 1	1
		床排水	壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い	1	☑ 1	1
-	一般室	内壁、窓下	水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある	2	☑ 2	2
¥ ¥	*** +	タイル壁	目地の亀裂、タイルの割れがある	— 2		11
	冶主	タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある		W 2	W 2
	広西	一般室	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	2	☑ 2	2
ŧ		廊下	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	1	☑ 1	E 1
- 2	床下		基礎の亀裂や床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	2
		N	合 計		22	9

注意事項の設定

「項目」と「種類」を変更す ると、該当する項目の注意事 項の初期設定が表示されます ので、必要に応じて文言を編 集して下さい。

意事り 項目 総合評	夏設定 現状 平価用	•	種類	基礎	·	〕内容	無筋	コンクリー	\UU	割れが	生じてい	3)		Ŧ
副業務田月	月													
・建物	が不同沈	下していま	す。地盤	記	(こよりき)	で善をはか	る必要	があります	t.					
•アン?	カーボルト、	引き抜きる	金物が十	分な性能	もを発揮	できない	場合がな	あります。						
こうし	した箇所に(は補強が必	と要です	•										
·地震	割けに、基礎	豊が曲げ破	壊し上れ	部構造の	性能を	ト分に発	揮できな	い可能性	生があり	ます。				
鉄籠	知ンクリート	・基礎など	を沿えて	基礎を補	強する。	必要があ	ります。							
_														
										-		_		
											OK		キャン	セル

x

OK キャンセル

画面上部の各種ボタンの説明



- A:ファイル操作
- 新規 新規に物件データを作成します。(現在作成中の物件がある場合には保存するかどうかを選びます)
- 開く 保存されている物件データを呼び出します。 (現在作成中の物件がある場合には保存する かどうかを選びます)
- 終了 木耐博士Sを終了します。
- 保存 現在作成中の物件データを保存します。
- **印刷** 物件データを印刷します。予め「出力画面」 に変更し、「耐震」ボタンを押して印刷用の データを作成する必要があります。

B:操作の取り消しとやり直し

undo 1つ前の操作を取り消します。 **redo** 取り消した操作をやり直します。

C:物件データの操作

入力 指定した内容を図面に入力します。
 削除 指定した内容を図面から削除します。
 変更 指定した図面上の内容を変更します。
 どの操作も、F・Gのいずれかと組み合わせて行います。(例:「入力・部屋」「削除・補助」等)

D:図面の拡大・縮小

 拡大 □付きのものは図面中央をクリックした後、 ドラッグした範囲が画面内に収まるように図 面を拡大します。□が付いていないものは一 定の割合で図面全体を拡大します。
 縮小 一定の割合で図面全体を縮小します。

相小 足の割日く因面主体を相小しより。

E:スナップ・グリッド幅・耐力壁の色

- **スナップ**図面上にモジュール幅で指定した分の目 印を表示します。
- グリッド幅 図面入力時にカーソルがモジュール幅 に対してどの程度の割合で動くかを指 定します。
- 耐力壁 耐力壁の強さに応じた色分けを表示するか どうかを指定します。

赤:0.0~2.5kN/m未満 黄:2.5~4kN/m未満 青:4.0~6.0kN/m未満 黒:6kN/m以上

F:操作する図面の要素の指定

- **部屋** 部屋の間取りを操作します。
- 開口 開口部を操作します。
- 自動 壁・柱・耐力壁・基礎の自動生成をします。
- 壁 壁の要素を操作します。耐力壁は「壁」に重ねて入力する必要があります。
- 柱 柱を操作します。
- 耐力壁 耐力壁を操作します。
- 区画 バルコニー・小屋裏・ポーチを操作します。
- 基礎 基礎伏図内の基礎を操作します。

基開口 基礎伏図内の基礎開口部分を操作します。 どの操作も、Cと組み合わせて行います。

G:図面に追加する要素の指定

補助 補助線を操作します。入力された補助線には 必ずカーソルが張り付きます。

- **寸法** 寸法線を操作します。
- 文字 図面に追加入力する文字を操作します。
- 画像 図面に追加入力する画像を操作します。

どの操作も、Cと組み合わせて行います。

H:基本情報の確認・変更

- **建物概要** 建物概要の内容の確認・変更をします。 (モジュールピッチは変更できません)
- **劣化係数** 劣化の内容を確認・変更します。変更を 反映させるには一度「出力画面」にある 「耐震」ボタンを押す必要があります。
- 地盤基礎 地盤・基礎の内容を確認・変更します。
- **情報表示** 各階の偏心率・必要耐力・保有耐力・評 点を一覧表示します。

|:物件データの操作等

- 入力画面 データ入力用画面を表示します。
- 出力画面 印刷用画面を表示します。
- 耐震 印刷用画面を作成します。
- **プランコピー**現状から補強案、もしくは補強案から補強案へデータをコピーします。
- **補強** 一定のロジックに従い、補強プランを自動で 作成します。
- **接合金物** 接合部仕様とN値から、補強箇所に取り 付ける金物を自動で生成します。
- プラン削除 作成している内容を全て削除します。 数量出力 補強した内容の一覧をCSVファイルで 出力します。

■STEP3 間取りの入力(1)



■STEP3 間取りの入力(2)



間取りの入力(2) 10

補助線について

間崩れした部屋を入力する場合には、あらかじめ補助線を引く必要があります。

【ケーススタディ】モジュール910mmの図面上に1000mmの補助線を引く場合



STEP4 柱・壁・耐力壁(軸組)の自動生成と修正(1) (1) 自動生成を実行する (江) 入入 開日前 ▲ 補助 数量 出力 0 部屋 ① 画面上部の「入力」と「自動」を左クリックし、自動生成を行える状態に 自動生成開始 3 します。 階数指定 自動生成の条件を指定します。 金階 金階 どの階を自動生成するか(全階・1階のみ・2階のみ・3階のみ) ◎ 1階 ◎ 2階 何を自動生成するか(柱・基礎・壁・耐力壁) ◎ 3階 入力済みの耐力壁を削除するか(する・しない) 筋かいを生成するか(生成する・しない/外周部のみ・全体) ▼柱 「自動生成開始」ボタンを押します。 (3) ▼基礎(基礎伏図のみ) ▼壁 ☑ 耐力壁 ◎ 入力済みの耐力壁を 削除する



○ 入力済みの耐力壁を 削除しない

✓ 軸組を生成する
 ● 外周部のみ生成
 ● 全体を生成

2

■STEP4 柱・壁・耐力壁(軸組)の自動生成と修正(2)

(2) 不要な壁の削除を行う



■STEP4 柱・壁・耐力壁(軸組)の自動生成と修正(3)





- 画面上部の「入力」と「柱」を左クリックし、柱を入力できる状態にします。
 は合和はばたについたし
- ② 接合部仕様を指定します。
- ③ 自動生成されていない部分で、柱部分をクリックすると入力できます。
- ④ 通し柱を入れる場合には「通し柱」をチェックします。(既存の柱に重ねて入力できます)
- ⑤ 「削除」と「柱」を左クリックし、柱を削除できる状態にします。
- ⑥ 柱をクリックすると削除されます。耐力壁が取り付いている場合、耐力 壁も合わせて削除されます。







⑥削除したい柱をクリックすると、柱のマークが消えます。 耐力壁が取り付いている場合、それも合わせて削除されます。





SINS

④通し柱を選択して入力したい場所をクリックすると、
 通し柱が入ります。(口を〇で囲んだ記号が出ます)

NINS

-lich





STEP6 補強提案書を作成する(1) (1)「補強案」タブに現状の図面を取り込みます ¹23 日 日 19 ○ ○ × □ 8 ○ ○ 田 1/2 ▼ UP ¹/2 ▼ UP ¹/2 ▼ Up ¹/2 ▼ Up □ P 11.7° 新規 「「 ų. 補助 プランコピー 小脳案3 □ 現状 目 補強案1 @ 基礎 @ 平面1F @ 平面2F コピー元選択 ① 画面上部の「補強案1」タブをクリックし、「プランコピー」ボ タンを押します。(補強案は1~3まで3図面が作成できます) @ 現 狀 OK ② 図面の「コピー元」を選択します。初めて補強案を作成する場合 ◎補強案1 キャンセル には「現状」を選択し、「OK」をクリックします。 ◎ 補強案2 ③ 現状と同じ図面が「補強案1」に取り込まれます。 ◎補強案3 ※「プランコピー」では「現状から補強案」「補強案から補強案」の コピーを行うことができます。 (「補強案から現状」へのコピーは実施できません) (2) 耐力壁の変更を行います ★規 開く 終了 保存 印刷 undo redo 入力 削除 変更 拡大 拡大 縮小 スナップ・ グリッド福 Up Up \$ 11.7° 画面上部の「変更」と「耐力壁」を左クリックします。 壁強さ倍率 7.7 kN/m ② 変更する耐力壁(筋かいの入力を含む)をクリックします。 軸組 ③ 現在設定されている耐力壁の情報が表示されますので、補強する箇所を 🔲 🍥 シングル 🔘 ダブル 選択し、内容を変更します。 ④ 筋かいを入れる場合には「軸組」にチェックを入れ、筋かいや土壁の仕 筋かい木材 30×90以上 -様を選びます。筋かいの場合には柱頭がある側も合わせて選択します。 ☑ 方向不明 「補強」をチェックします。 (5)柱頭 ⑧ 左(下) ⑧ 右(上) ④ ⑥ カーソルを図面に戻し、左クリックします。補強した箇所に〇印が付け られます。 面材 🗹 🛛 💿 外部 💿 内部 周線 (右/上) ⑮モイスかべつよし入隅€ ▼ ☑ ◎ 外部 ◎ 内部 | 胴縁 (佐/下) 石音ボード張り 6 基礎仕様 無筋コンクリート基礎(で ▼ 3 (5) | 補強不可壁 ✔ 補強 接合部金物 Ⅳ 51



補強プランの自動生成について

「木耐博士S」では、一定のロジックに従って補強プランを自動で作成することが できます。実際の設計の参考にお役立て下さい。

●基礎改善:全耐力壁の基礎仕様を「鉄筋コンクリート(健全)」に変更します。 ●劣化度改善:劣化による低減係数を「1.0(劣化なし)に変更します。

- ●屋根の軽量化:屋根材の仕様を「軽い」に変更します。
- ●下屋部壁補強:下屋部分の耐力壁を、壁補強の対象とします。
- ●壁補強部材(外部・軸組・内部):該当する部分の耐力壁を、指定した耐力壁で 補強します。外部・軸組・内部のいずれかにチェックを入れると面材が指定で きるようになりますので、どの面材で補強するかを選択して下さい。
- ●上部構造評点:目標とする評点を入力して下さい。

上記の設定を全て終えましたら「実行」をクリックして下さい。 ソフトが自動で補強プランを作成します。

補強ブラン生成 基礎改善 劣化度改善 学化度改善 屋根の軽量化 下屋部壁補強 壁補強部材 外部 別縁 仕上げなし



筋かい木材 15×90以上(金

□内部 | 胴縁

軸組







□ 変更 拡大 拡大 縮小 <u>ス+97</u>⁰ <u>ガリッド幅</u> Uer. Up

■ 建物 劣化 地盤 情報 入力 画像 概要 係数 基礎 表示 画面

↑ 寸法 (A 文字

)-

補助

\$ % 11.7°

出力 耐震 ブラン 補強 接合 ブラン 数量 コピー 補強 金物 削除 出力

STEP7 画像・文字を挿入する(2)

り CP (シー)× undo redo (シー)× 认力 削除

●●● ●●●

区画

同力量

即柱

(2) 文字を挿入します

日 日 保存 印刷

□ 123
□ 第7

新規

◆ 部屋

N値計算の結果を表示する

補強提案書では、接合部を選定する際に必要となるN値計算の結果を表示させることができます。

新規	□ 開<	課了	□ 保存	副印刷	S undo	P redo	1.7		ロ <u>入</u> 変更	会拡大	⊕ 拡大	○ 縮小	⊞ ⊼ታ97°	- 1/2 グリッド		Ver. Up	M-F	8 11.7°				
 ◆	FT HD	自動		印柱	前力壁	De la compositación de la	基礎	を開口	▲補助	/ᢪ 寸法	A 文字	• 🔛 画像	建物概要	劣化 係数 支	地盤 情報 基礎 表示	入力	田力	利震	プラン 補強	接合金物	プラン 削除	数量 出力

- ① 補強案のタブで「出力」「耐震」とクリックします。
- ② 各接合部分の状態が【接合部仕様(N値)】の順で表示されます。 N値が表示されていない箇所はN値が0以下=引き抜けが発生しない箇所です。





画面上部の「設定」→「機能設定」で、N値の表示・ 非表示を切り替えることができます。

なおN値計算の詳細に関しましては、別途「N値計算 操作マニュアル」をご確認下さい。

◎ 壁強さ(音率(kN)	◎ 壁借	摔(倍)	
評点表示色				
赤		青	Ę	l.
	1	1.8	j	
偏心率表示	:	低減	(係数E	
0 15%	0 30%	0	4分割法	◙ 偏心率
柱表示設定				
	. 🗖 N	1値 🔽	接合部	
現状				1 ta.a
現状 補強	4 ☑ 案	埴 🔽	接合部	◎ 按古 並 10
現状 補強 フッター印刷	4 🔽 案	1値 ▼	接合部	墜頭白壶物
現状 補強 フッター印刷 図3行目	案 🔽 N]のメッセージ	1値	接合部 	<u>▼</u> 1☆ ⊟ 並10

接合金物を自動で選定する

補強提案書では、N値と接合部仕様(Ⅰ~Ⅳ)をもとに接合金物を自動で選定することがことができます。

 ⊕ ● 田 ● 1/2 ● 前井 拡大 縮小 ス±97° グリッド幅 レン × 入力 削除 日期 8 1.1.7° 終了 保存 undo redo Ver. Up Ş 変更 新規 開く 入力 出力 耐震 プラン 補強 接合金物 数量出力 F 区面 **建**市 金剛日 補助 ▼ ■ 建物 劣化 地盤 情報 画像 概要 係数 基礎 表示 一寸法 A 文字 部屋

接合金物生成 条件設定

▼ ユーザー登録部材のみ使用

※接合部金物メンテナンス参照

☑ 優先補強部材使用

OK

m

m

キャンセル

1 2.24

1階階高 2.7

2階階高 2.7

- ① 補強案の出力画面で「接合金物」をクリックします。
- (2)「条件設定」画面が表示されますので、各階の階高を入力して 下さい。また必要に応じて「ユーザー登録部材のみ使用」「優 先補強部材使用」にチェックを入れて下さい。
- ③ 条件設定が終わったら「OK」をクリックして下さい。補強を 行った接合部分に使用する金物を自動で選定します。

** ~ 接合部仕様の選定について(詳細)~ **

補強を行った接合部分の左下に、N値計算の結果と条件に応じた接合部仕様が表示されます。 (囲み内右下をご参照下さい)

それぞれの条件の意味は以下の通りです。

●ユーザー登録部材のみ使用

ここをチェックした場合、「マスターメンテナンス」内 「接合部金物メンテナンス」の中で「ユーザー登録部材」 となっている金物の中から、接合部仕様を選定します。

●優先補強部材使用

ここをチェックした場合、「マスターメンテナンス」内 「接合部金物メンテナンス」の中で「優先補強部材」と なっている金物を優先して使用します。 「優先補強部材」の中に接合部仕様を満たす金物がない 場合は、それ以外の金物から選定します。

接合部金物メンテナンス 接合部仕様に関する設定の変更 商品名 は、画面上部「マスターメンテ No ナンス|内「接合部金物メンテ ナンス」から行えます。



補強部材の数量を自動出力する

補強した部材(面材・金物等)の数量を自動出力することができます。

新規	□ 開<	く 終了	□ 保存	日期	Lando	P redo	1	入削除	口 <u>入</u> 変更	日拡大	⊕ : 拡ナ	t	○ 竊小	⊞ ⊼≠97°	1/2 ▼ グリッド幅	耐力	Ver. Up	M ²	° Лл7°				
	F	自動		●	同力量	De D	建 礎	金月 基開口	★ 補助	ⁱ ℃↑ 寸法	A 文字	•	画像	建物概要	劣化 係数 基礎	情報 表示	入力 画面	出力	耐震	プラン 補強	接合 金物	プラン 削除	数量 出力

① 補強案の出力画面で「数量出力」をクリックします。

② 保存場所を指定し「保存」をクリックします。

③ 指定した場所に補強部材一覧(CSVファイル)が出力されます。

1 K	M M	SPゴシック		*	11 · A	,× ≡≡	≡ ≫	冒折り返	回して全体を表示	する 標準								A
5	e E	I U -			• <u>A</u> • 3	É· ■ ■		重セルを	結合して中央揃	रे - ∰-	% , *.;	141年 (141)	うき テーノルとし(スタイル・	挿入 則時	"香丸	2 ジェークイルター	* 選択 *
ポード	15		フォン	1		15		配置		15a	数値	12	スタイル		セル		編集	
	T44		0	f _x														
	A	В	(2	D	F	F	G	Н	I	J	K	1	M	N	0	P	Q
研修	所7:补	- 	Ęβ		-													
浦	魚 部	材一覧	表															
皆数		Х	Y		部屋	補強内容	壁の長さ	記号	仕様部材									
	1	2	6-9		押入	壁補強	1.82	MTH	③モイスカ	べつよし	真壁添え柱	n in the second s						
	1	4		6		柱頭柱脚		OC16	新オリジナ	ルコーナ	一金物							
	1	2		9		柱頭柱脚		OC16	新オリジナ	ルコーナ	一金物							
	1	E	1-2		押入	壁補強	1	MTE	⑤モイスカ	べつよし	入隅e							
	1	5		1		柱頭柱脚		OC16	新オリジナ	・ルコーナ	一金物							
	1	5		2		柱頭柱脚		OC16	新オリジナ	・ルコーナ	一金物							
	1	5	2-3		押入	壁補強	0.91	MTA	①モイスカ	べつよし	大壁a							
	1	5		3	1 - 3	柱頭柱脚		OC16	新オリジナ	ルコーナ	一金物							
	1	5	3-4		押人	壁補強	0.91	MTE	19モイスカ	いつよし	人隅e							
	1	6		4	1.34	柱頭柱脚		0016	新オリジナ	ルコーナ	一金物							
	1	6-7		1	洋奎	堂 補短	0.91	MTE	05モイスカ	いべつよし	人隣e							
	1			- 1		11日月11日月11日月11日月11日月11日月11日月11日月11日月11日		0016	新オリシナ	-ルコーナ	一金物							
	1	7.0		1	洋中	1生 夏月1生 胸け 見をうまつ会	0.04	UU16	新オリンナ	- ルコーナ	一 金 初 十 時 -							
	-	/-8			/千至	空 1用5虫 1 1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	0.91	MIA	サモイスル 新士山 パナ	ベンよし	八空a 一会帖							
		0.0			洋安	作生交見作生が同け	0.01	MTE	制 オリン ノ 40 エマラカ		一 並 1別 1 R里-							
	4	0-9 C		1	/十王	主 1 冊 5 里 1 冊 5 里	0.91		シモイス// 新オロミグナ	~~ シネし	八四8 二全物							
	1	4-5		q	‡⊞ λ	辟補給	0.91	MTE	(のモイフカ	バコナ	λ R.B.o							
	1	+ J F		q	117	主 而远 柱頭柱 脚1	0.01	0016	新オリシブナ	- What								
	1	5-6		9	和室	壁補命	0.91	MTG	のモイスカ	べつよし	直壁σ							
	1	e		9		柱頭柱脚		OC16	新オリジナ	ルコーナ	一金物							
	1	8-9		9	和室	壁補強	0.91	MTG	のモイスカ	べつよし	真壁g							
	1	8		9		柱頭柱脚		OC16	新オリジナ	ルコーナ	一金物							
	1	9		9		柱頭柱脚		OC16	新オリジナ	ルコーナ	一金物							
	2		8-9		押入	壁補強	0.91	MTE	⑤モイスカ	べつよし	入隅e							
	2	4		8		柱頭柱脚		OC16	新オリジナ	ルコーナ	一金物							
	2	2		9		柱頭柱脚		OC16	新オリジナ	ルコーナ	一金物							
	2	e	i 8-9		押入	壁補強	0.91	MTE	⑤モイスカ	べつよし	入隅e							
	2	6		8		柱頭柱脚		OC16	新オリジナ	ルコーナ	一金物							
	2	6		9	*	柱頭柱脚		OC16	新オリジナ	ルコーナ	一金物							
	2	6-7		4	和至	堂補強	0.91	MTG	10 モイスカ が ナリンド	べつよし	具堂g							
	2	-		4		任現在期間		0016	新オリジナ	ルコーナ	一金物							
	2	10		4	+m 1	1日5月1日間月 日本1日の	1.00	UC16	新オリジナ	ルコーナ	一 近 初 吉 騒 汤 ニ +	-						
	2	4-6		9	1甲八	堂補短	1.82	MIH	(2) モイスカ	べつよし	具堂添え柱	1						
						511月日の1日	*											

補強部材一覧(CSVファイルを開いた画面)

設定とマスターメンテナンス

「設定」内の各種項目について

機能設定 別ウインドウが開きます。

- 耐力壁倍率 面材の耐力表示単位(壁強さ倍率/壁倍率)を変更します。 評点表示色 危険となる数値(赤)・安全となる数値(黒)を変更します。 設定された数値の間は青で表示されます。
- 偏心率表示 図面上に表示される「偏心率の目安」の広さを変更します。
- **低減係数E** 「配置による低減係数」について、「4分割法」「偏心率」の 切り替えができます。
- **下屋部分の接合部低減係数** 上階が乗っていない部分の接合低減係数について、「最上階と して計算する」「2階建ての1階として計算する」の切り替え ができます。
- **柱表示設定**現状・補強案の出力画面に「N値」「接合部」「接合金物」を 表示するかの切り替えができます。
- **フッター印刷**出力帳票に定型文を入れるかどうかを選択できます。
- 情報表示 全階・全方向の偏心率・必要耐力・保有耐力・評点を一覧で表示します。

下絵表示他の階(1階の場合は2階、2・3階の場合は直下階)の情報を薄く表示するか選択できます。

※「劣化度低減係数」「地盤基礎」「情報表示」「耐力壁表示」はそれぞれ該当するボタンと同じ機能です。

「マスターメンテナンス」内の各種項目について

※マスターメンテナンスで変更した内容をソフトに反映させる場合には、「木耐博士S」を一度終了し、再起動させる必要があります。

診断会社情報 診断書表紙に印刷される会社情報を設定します。(下図) 診断者メンテナンス 診断書表紙に印刷される診断者の情報を設定します。 部屋名称メンテナンス 部屋入力時に表示される部屋の設定を追加・変更します。 下地材メンテナンス 面材・軸組等の情報を追加・変更します。 接合部金物メンテナンス 金物の情報を追加・変更します。

青華局			
会社名	木耐協事務局		
主所1			
主所2			
電話番号	0120-249-761	1	
AX番号		1	
Eの他			

1/1×1±10+		
◎ 壁強さ倍率(kN)	◎ 壁倍率(倍)	
評点表示色		
赤	書具	k
1	1.5	
偏心率表示	低減係数E	
15% @ 30%	◎ 4分割法	◎ 偏心率
下屋部分の接合部低減	係数	
◎ 最上階として計算す	3 🔘 2階建ての1階	として計算する
柱表示設定		
現状 📄	値 🛛 接合部	
補強案 🔽	値 💟 接合部	📝 接合金物
フッター印刷		